



広報

大熊町役場会津若松出張所

6月1日発行/大熊町役場総務課 所在地：福島県会津若松市追手町2番41号 ☎フリーダイヤル：0120-26-3844(代)
E-mail：okuma@town.okuma.fukushima.jp/ ブログ大熊町 http://blog-okuma.jugem.jp/
大熊町公式ホームページ http://www.town.okuma.fukushima.jp/

今月の主な内容

- 特 集 ②～③
- 町のうごき ④～⑥
- 市民のひろば ⑦
- KIZUNAおまふれあい通信 ⑧～⑪
- お知らせ ⑫～⑬
- 町民掲示板 ⑭～⑱
- 保健だより ⑲～⑲
- あらかると ⑲

フルーツの香り漂う ロマンの里

おおくま



6

届け！歌声

— NHK春コンサートin鶴ヶ城 (2014.4.26) —

2014〔平成26年〕No.503

染が行われています

大熊町内の居住制限、避難指示解除準備の両区域で4月中旬から、住宅地にあるホットスポットの除染が行われています。環境省が昨年6月から実施している本格除染の最終段階の作業に当たり、大川原、中屋敷の両地区にある168戸を対象としています。

ホットスポットは周囲の放射線量を大幅に上回る個所とされています。雨どいや集水桝（ます）の近くなどが多く、対象個所では放射線量を低減させるため、土や雑草を取り除き、新しい土を埋めていきます。

ある住宅では物置周りがホットスポットでした。トタン屋根に付着した放射性物質が雨などで流れ落ちたためとみられます。作業員がスコップを使って土を取り除き、新しい土を盛ったところ、放射線量は毎時4.2マイクローシーベルトから1.05マイクローシーベルトまで下がりました。



▲盛り土をならして元の形状に近づける



▲様々な場所で線量を測る作業員



▲線量の高いアスファルトの継ぎ目



▲除染廃棄物が運び込まれる仮置き場

【ホットスポット除染に関するお問い合わせ先】

環境省福島環境再生事務所会津支所

☎0242-23-7970

大熊町役場復興事業課

☎0120-26-5671（フリーダイヤル）

ホットスポットの除

た。別の事務所敷地内では植え込みの一部に高線量の箇所がありました。側溝に続く雨水の通り道で、土に放射性物質がしみ込んだとみられます。ここでも作業員が丁寧に土を取り除き、盛り土をしました。放射線量は毎時5.4マイクロシーベルトから0.98マイクロシーベルトまで下がりました。ほかにアスファルトの継ぎ目、雨どいの下などにホットスポットがありました。

取り除いた土は袋に詰めて町内の仮置き場に運ばれます。仮置き場は居住制限、避難指示解除準備の両区域に12カ所あり、どこも除染で出た廃棄物を詰めた黒い袋が積まれています。

現在、町内で除染に当たる作業員は約350人。作業は6月下旬ごろまで続く見込みです。その後、事後モニタリングを行う予定となっています。



▲物置周りの土をはぎ取り袋に詰める



▲植え込みの縁がホットスポット



▲新しい土をかぶせる



▲放射線量を測り除染効果を確認する



▲雨どいの下も線量が高い

復興支援員が活動を始めました

避難先のコミュニティ支援や広報活動に当たる大熊町復興支援員3人が決まりました。今後、町民の絆を維持するために貢献します。

復興支援員となったのは、避難者コミュニティ復興支援担当の土田功光さん(48)、広報担当の渡部克彦さん(39)、村田ちなみさん(21)。土田さんは町民が避難先で自治会やサークルなどのコミュニティを立ち上げたり運営したりするのを手伝います。渡部さんと村田さんは町の動きや避難先でのイベント、出来事などを取材し、タブレット端末に動画を配信します。タブレット端末の利用促進のため講習会を開いたり、問い合わせに応じたりする役目も担います。委嘱状交付式は5月13日に会津若松市の町役場会津若松出張所で行われ、渡辺利綱町長が3人に委嘱状を手渡しました。



▲委嘱状を受けた3人



土田功光さん 渡部克彦さん 村田ちなみさん

土田さんは岩手県釜石市で仮設住宅の住民を対象としたイベント企画などに携わった経験があり「環境が異なる町民一人一人に正面から向き合います」と抱負を述べました。

渡部さんは被災地の復興支援に当たる公益社団法人、助けあいジャパンで情報レンジャーとして動画配信に取り組んでいました。「町民と同じ目線で、積極的にイベントに参加します」と語っています。

村田さんは渡部さんと同様、助けあいジャパンで様々なお知らせを発信する電子回覧板事業を担ってきました。「町のためにできることはないかと考え、活動に参加しました。町民の目線で必要な情報を伝えます」と話しました。

土田さんと村田さんはいわき出張所、渡部さんは会津若松出張所を拠点に活動します。

ロータリークラブから車をいただきました

会津若松市の会津若松西ロータリークラブなど3クラブと国際ロータリー第2530地区から4月26日、大熊町に軽ワゴン車1台が寄贈され、町役場会津若松出張所で引き渡し式が行われました。

寄贈に協力していただいたのは、ほかに鶴岡西(山形県)、鹿児島中央(鹿児島県)の両ロータリークラブ。車は会員の寄付と第2530地区の補助金で購入され、3クラブ合同震災復興支援プログラムの田中文雄実行委員長(会津若松西ロータリークラブ)が「早く復興が実現できるよう、陰ながら支援したい」とあいさつ。会津若松西ロータリークラブの佐藤栄朗会長が渡辺町長にキーを手渡しました。



▲寄贈した車の前で渡辺町長にキーを手渡す佐藤会長(中央)

新藤総務大臣と意見交換をしました

新藤義孝総務大臣が5月10日、会津若松出張所で渡辺町長および千葉議長と面談し、住民票の取扱い等について意見交換を行いました。

新藤大臣は「現地に来て直接お話を聞かせていただき、我々もできる限りのお手伝いをさせていただきたい。（住民票問題は）前例の無いことですが、関係省庁と連携して解決策を探り方針を示したい」と述べました。

席上、渡辺町長から新藤総務大臣へ手渡した要望書の要旨は次のとおりです。



▲新藤大臣（右）へ要望書を手渡す渡辺町長

要望書要旨

1 住民票の取扱いについて

現行法上、居住実体のある場所に住民登録するが、大熊町の場合は他の自治体への住民登録を余儀なくされ、意志に反して大熊町民でいられなくなる可能性もあるので、災害の特殊性等鑑み、特段に配慮した措置を講じていただきたい。

2 原発避難者特例法について

- (1) 避難先の自治体から行政サービスの提供を受けているが、人材不足等により一部の行政サービスの提供が困難になっている。新たな特例事務の指定について、被災市町村の実態を踏まえて柔軟に対応していただきたい。
- (2) 被災自治体でありながら、他自治体からの避難者を多く受け入れている自治体では、日に日に業務量が増大している。このような自治体への人的支援を検討していただきたい。

バサースト市の訪問団と交流しました

大熊町の姉妹都市、オーストラリアのバサースト市からの訪問団が4月27日から30日まで、会津若松市を訪れて町の関係者と交流しました。

一行はギャリー・ラッシ市長をはじめとする10人。公式訪問団の来日は、東日本大震災後では初めてとなります。町役場会津若松出張所を視察したり、会津美里町の桜や大内宿など会津の観光地巡りを楽しんだりしました。

28日には会津若松市内で、おおくま国際交流協会主催の歓迎会が開かれました。ラッシ市長は「町が再建する様子を自分の目で確かめることができたことは、素晴らしい経験」と述べ、同協会の松永秀篤会長が歓迎しました。

町の小学生と高校生が日本舞踊を披露しました。餅つきにも挑戦しました。



▲友情を深めた関係者ら

町内で田植えを行いました

除染した町内の土地で耕作が可能かどうかを調べるコメの試験栽培が始まり、5月19日に大川原字南平の水田で田植えが行われました。

まとまった面積でコメを栽培するのは、東日本大震災後初めてとなります。町農業委員会やJ A、県、町の担当者ら約20人が参加し、除染を終えた約25アールの水田に機械でひとめぼれの苗を植えました。

た。

帰還困難区域の下野上字清水にある実証田約72平方メートルでも田植えを行い、農業委員らが手で苗を植え付けました。

収穫したコメは放射性物質の濃度を調べる分以外廃棄されますが、参加した皆さんは4年ぶりの田植え作業に生き生きと取り組んでいました。

▶機械で苗が植えられる大川原の水田



▲下野上の実証田に手植えする参加者



▲風にそよぐひとめぼれの苗



▲田植えに汗を流した参加者



▲獣害防止のため設置された電気柵

健康で楽しく働ける、豊かなまちをつくりましょう。
みんなで助けあい、明るいまちをつくりましょう。
きまりを守り、平和な住みよいまちをつくりましょう。
自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
進んで学び、香り高い文化のまちをつくりましょう。

復興を願いふるさと大熊に植樹 —東北花咲かお母さんプロジェクト—

「東北花咲かお母さんプロジェクト」が5月10日、役場現地事務所のある坂下ダムで行われ、ダムの湖畔に八重桜と陽光桜合わせて80本が植樹されました。このプロジェクトは、通信販売でおなじみの株式会社フェリシモが震災以降に行っている活動で、被災した地域のお母さんたちに商品を作ってもらい、その売り上げの一部からお母さんたちの地元の花を植える活動です。

今回の植樹は、大熊町から会津若松市に避難しているお母さんたちが、絵ろうそくやブレスレットなどの商品作りに関わり、その資金を元に「やっぱり大熊町に植えたい」というお母さんたちの願いにより実現しました。

当日は、商品を作ったお母さんたち家族のほか、遠くは愛知県や埼玉県からのボランティアも参加しました。

参加した花咲かお母さんたちは、この桜が大きく見ごろを迎える頃には、みんなが気軽に見に来られる場所になるよう、復興を願いながら一本一本ていねいに植えていきました。



植樹に汗を流した参加者

タブレット端末の使い方を学びました



助言を受けながらタブレット端末を操作する町民（左）

便利なタブレット端末に親しむN T T東日本福島支店の体験型イベント「昭和レトロなふれあい広場」は4月18、19、21の3日間、会津若松市の一箕町長原地区、扇町一号公園の両仮設住宅で開かれました。

各仮設住宅では、住民が町配布のタブレット端末を持参し、講師役の社員から手ほどきを受けました。インターネットで調べ物をするための基本動作や地図の見方、動画投稿サイトの楽しみ方などを丁寧に教わり、便利な使い方の幅を広げました。休憩時間も操作を続ける熱心ぶりでした。

KIZUNA

おおくまふれあい通信

第14号

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただいています。

「KIZUNAおおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

※掲載する文章は、インタビューした内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はございません。

緑の少年団結団式 (H19.6.18)



クリーンアップ作戦 (H19.6.17)



小学生陸上大会 (H19.6.5)

「KIZUNAおおくまふれあい通信」で、あなたの想いを伝えてみませんか？

KIZUNAおおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先 大熊町役場会津若松出張所総務課秘書広聴係
フリーダイヤル：0120-26-3844 FAX：0242-23-7093
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp



福島県 会津若松市

とみた えいいち

富田 英市 さん

自宅は夫沢3区で、平成23年11月から同区長を務めている。妻は民生委員。避難時、やむを得ず愛犬を自宅においてきたが、幸い、ボランティアに保護された。現在、妻、その愛犬とともに会津若松市内の仮設住宅で生活している。



植木の枝を剪定し、切り落とした枝を片付けていた時、地震に遭遇しました。大地震の恐怖にどうすることもできませんでした。揺れに驚いた飼い犬が吠え続ける中、玄関前の庭木につかまって揺れが収まるのを待ちました。妻は、買い物に出かけていましたが、大きな揺れが収まって間もなく、無事に帰宅しました。

幸い、自宅の建物に大きな被害がなかったため、妻と自宅内に散乱したものを片付けているうち、防災無線で大熊中学校の体育館に避難するように放送があったため、同体育館で夜を明かすことにしました。

避難所へ向かう途中、地区内に住む一人暮らしのお年寄りのもとを訪問してまわりました。皆さんの姿が見当たらず心配でしたが、避難所に到着すると、無事な姿で再会できました。また、近所に住んでいた長女一家とも合流することができました。

翌朝、避難所の外に出てみると、茨城交通のバスが何台も停まっています。何かおかしいなと思っていると、避難所にいた役場の職員から、避難指示が出され、町から避難するためのバスが到着していることが告げられました。

私たち夫婦、長女と孫の計5人は、その朝8時半ごろ、避難バスで町を離れ、田村市都路地区の体育館に入りました。その後、長女の夫と合流しました。その夫は会津出

身で、その弟が私たちを心配し迎えに来てくれたため、平成23年3月12日の夕方には会津に到着し、それ以来、借上げ住宅などを経て、同年12月から現在生活している仮設住宅に移りました。

同年秋、福島第一原発から3キロ圏内にある私たちは、ようやく、一時帰宅ができるようになりました。自宅では犬を飼っていましたが、長女の夫が町を離れるときに、繋いでいた鎖を外してきたと話していたため、何とか生きていくのかと思っていました。しかし、何度呼んでも姿を現すことは無く、かわいそうなことをしたとあきらめていましたが、平成24年春、孫がインターネットで似た犬の保護情報を見つけ、犬を保護した栃木県内のNPOに問い合わせたところ、うちの犬だと分かり、茨城県つくば市内の里親のもとにお礼もかねて会いに行きました。それが縁で、里親の斎藤様一家との交流が始まりました。しばらく面倒を見ていただきましたが、その後、斎藤様が体調を崩し、犬の世話が難しくなつたため、私たちのもとに引き取りました。この春、孫2人はそれぞれ進学のため、会津を離れました。寂しいなとは思いますが、故郷を失った私たちにとって、せめてもの希望は孫たちの将来と思い、遠くから見守っていききたいと思います。



福島県 会津若松市

たざわ のりお

田澤 憲郎 さん

自宅は大野2区、本人は長年役場に勤務。妻と長女夫婦は、自宅兼店舗で理容室を営んでいた。

被災直後、県外に避難した時期もあったが、現在、妻とともに会津若松市内の仮設住宅で生活し、人権擁護委員なども務めている。



昨年8月初旬、妻とともに、原発事故以降初めての墓参りをしました。父の墓前に供え物をし、手を合わせたときには、梅雨明け後の灼熱の下であっても、何か気持ちが和らいだような感じすら覚えました。

私は、長年役場に勤務し、平成19年3月に退職、平成22年3月まで福島県原子力広報協会の理事を務めました。「冬になると男が姿を消す…」、農閑期には出稼ぎをしなければ生活が成り立たない地域を、年間通して家族一緒に暮らせる地域にという思いで、約40年間、町の原子力行政に関わってきました。避難以降、定期的に東電から送られる賠償関係の書類を見ると、「これまでの付き合いが、こんな紙切れになってしまふのか…」と残念な気持ちになります。

私は、被災翌朝、避難指示を受け、家族と共に町を離れました。県内外の避難所や親類宅を経て、平成23年4月下旬、町の2次避難所に指定された喜多方市熱塩温泉の旅館へと移り、同年7月から、現在生活している仮設住宅に移りました。こちらに移って間もなく、妻は、同じ仮設住宅内の皆さんから声がかかり、理容室を再開しました。市街地から離れていることもあり、移動が難しいお年寄りの方々からは、喜ばれているようです。一方、私は、仮設住宅内で防犯隊を立ち上げ、活動を始めました。

避難後、支援を含め、様々な出会いや体験がありました。熱塩温泉にいた縁で、シンガポールから喜多方市を訪れていた研修生に、震災体験を話してほしいとの声がかかりました。それがきっかけで、「ふくしま観光復興支援センター・震災語り部」を引き受けることになりました。遠くは、埼玉県内の高校から依頼が来たこともあり、現在は生活している会津を中心に、観光客のみなさんに、震災と原発事故の体験をお話することを通して、同じ福島県でも、安心して観光を楽しめるところがたくさんあることを理解していただければ、私たち避難者がお世話になっている地域のみなさんに、少しでも恩返しになるのではないかと考えています。

先月25日、会津若松市文化センターで「ミネハハ・ハートフルコンサート2014」を開催し、私たち町民だけでなく、日頃お世話になっている市民の皆さんなどにご来場いただきました。ミネハハさんは平成20年に当町で公演したことが縁で、昨年、私たちが生活する仮設住宅を訪ねてくれました。さらに、原発事故の避難状況の視察に訪れた大阪北ロータリークラブの皆さんの支援を受けるなどできたため、実行委員会を立ち上げ、今回の開催に至りました。開催当日は、多くの皆さんの和んだ表情、やって良かったなど安堵させられました。



福島県 会津若松市

よしだ のあ

吉田 望愛 さん

大熊中学校 2年生

自宅は下野上1区。被災当時は大野小学校4年生。

入学後、部活はバドミントン部に所属している。

両親、姉とともに会津若松市内の借上住宅で生活している。



小学校から、当時小学校6年生だった姉とともに帰宅して、ちょうどランドセルを下したとき、母の携帯が鳴り、足元から揺れ始めました。後になって、その携帯の音が緊急地震速報だと分かりましたが、その時は、何が何だかわからないといった感じでした。大きな揺れに身動きすら取れない中、周辺の家では、屋根瓦が次々と落ち、土煙が上がっていました。その日は、兄が中学校の卒業式を迎えたため、地震が起きたとき、祖母以外の家族は自宅にいました。しばらくして祖母が帰宅し、家族全員が無事に顔を合わせましたが、自宅の中はモノが散乱し、私の部屋などは、家具が倒れて入口のドアが開かない状態だったため、自宅前に停めた車で夜を明かしました。

翌朝、消防団員の方が自宅に来て、避難指示が出されたことを告げられ、私たち一家は、避難バスに乗るために、下野上1区の集会場に向かいました。その時はまだ、すぐに帰れると思っていたため、特にこれといった荷物を持つこともありませんでした。しばらくしてバスがきました。私・母・姉・祖母の4人が先に到着したバスに、父と兄がその次に来たバスに乗り、町を離れました。

私たち先に出た4人が乗ったバスは、

田村市立船引小学校に到着しましたが、すでに多くの避難者であふれ、父らの姿を見つけられません。携帯電話がつながるようになっていたため、父に電話を入れた「4年3組」の教室にいると告げたところ、「4年なんてあるわけがない」との返事でした。当初、話がかみ合わず困惑しましたが、父らは、近くにある船引中学校に到着したことがわかったため、そうした会話になってしまいました。避難バスの順番が1本前後しただけで、すれ違いになってしまったり、今思えば、被災そして避難からしばらくは、いかに混乱した状況にあったか、改めて感じさせられます。

現在もなお、世界中の皆さんから多くの支援をいただいています。普通であれば体験できないことに数多く出会っています。中でも「ヤングアメリカン」というプログラムでは、言葉は通じなくても、身振り手振りを交えて、交流ができることを経験できました。

避難以降、大熊町は会津若松市で中学校が開かれ、友だちと再会できたことはうれしいことでしたが、新学期が始まるごとに同級生が転校していくなど、寂しく思うことも多々あります。しかし、将来に向かって歩き出そうと、お互いに笑顔で手を振っています。

● 11 ページから続く ●

- ・タカハシ ユウ
- ・タカハシヒロユキ
- ・高原 義男
- ・タキムラ カオル
- ・タクサリ シン
- ・竹田病院ゴルフクラブ
- ・多古町議会
- ・田中 一志
- ・タニ コウジ
- ・ツチヤ タカミ
- ・寺門 邦次、森 シュタービン
ンガー 智子
- ・東京土建一般労働組合 調布
支部
- ・トクヒ) アジアアリガトウシ
- ・ナカイ ジュンコ
- ・中島 弘之
- ・ナカヤマ ミカ
- ・西川 忠
- ・ニツシヨウジドウシヤコウキ
- ・ノベ タダヨシ
- ・波多野 達
- ・ひがしんビジネスクラブ
オーロラ江戸川地区13支部
一同
- ・ヒロミダンススタジオ クワ
- ・ファルクウェア株式会社
- ・フジイ カツユキ
- ・フタワミヒトダイサンジチカ
- ・ホソイ アキコ
- ・ホンマ アツシ
- ・前田 孝枝
- ・マキノ トキコ
- ・マツノ アキラ
- ・松本 昭榮
- ・三浦 家治
- ・ミエコウトウガツコウブンカ
- ・みやこ町
- ・村上市立 山北中学校
- ・メンバーズ祇園 浅井 寿美江
- ・モトスギ ヨシコ
- ・盛田 英幹
- ・ヤマモト タツヤ
- ・山本 歳雄
- ・ユ) イシハラ
- ・有限会社 藍木野
- ・ヨシダ カノウ
- ・ヨシダ ツヨシ
- ・ヨシダ ヒデコ
- ・吉田 雄二
- ・ラーメンショップ藪塚店
- ・ワタナベ ケイコ
- ・和野 恵一

他 匿名希望 3件

計 126 件

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所 生活支援課

平成25年度に教育委員会に教育支援金をお寄せいただいた方々をお知らせします

東日本大震災の教育支援金につきまして、国内外の多くの皆さまから温かいご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

教育委員会では、皆さまからお寄せいただいた貴重な教育支援金につきましては、子どもたちのための教育関連活動費として大切に使用させていただいております。

今回は平成25年4月1日～平成26年3月31日までに教育支援金をお寄せいただいた方をご紹介します。(敬称略・順不同)

平成25年度

- ・神奈川県藤沢市教員 端山幸雄・端山徳子
- ・東亜道路工業株式会社 代表取締役 大西義嗣
- ・片倉幸男
- ・有限会社三瓶工務店 代表取締役 三瓶敏雄
- ・秦野市教育委員会 (4回)
- ・学校法人 捜真学院 捜真小学校
- ・御前崎市立浜岡中学校 (2回)
- ・真壁伝承館 桜川市教育委員会
- ・尊徳記念館 小田原市役所 文化部生涯学習課
尊徳記念館係
- ・社会福祉法人 仙台市社会事業協会
柏木保育園園長 島田玉江
- ・株式会社打つ手は無限小山支社
志塾塾長 鈴木稔
- ・掛川市教育委員会社会教育課内
平成26年掛川市成人式実行委員会
- ・小山明子 (子供達の本代として)
- ・三重街道縦走街道マラニック大会実行委員会

平成25年度中に大熊町に義援金をお寄せいただいた方々をお知らせします

東日本大震災の義援金につきまして、国内外の多くの皆さまから暖かいご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

町では、皆さまからお寄せいただいた義援金につきましては、平成23年3月11日時点で大熊町に居住していた方に対して、生活再建の支援金として配分させていただいております。

今回は平成25年4月1日～平成26年3月31日までに義援金をお寄せいただいた方をご紹介します。 (敬称略・順不同)

- ・(株) 研音
- ・(株) ケン企画
- ・Arak
- ・NPO法人DO55
- ・ONE STEP
- ・RED JASPER ツーリング募金 (2012年8月～2013年8月までのツーリング参加者)
- ・TWIN HEAD BROS ツーリング募金 (2012年8月～2013年8月のツーリング参加者)
- ・アシッドマン
- ・アズマ マサジ
- ・アツウミ ヨウコ
- ・アライ リカ
- ・飯島 謙次
- ・池田 光秀
- ・イシダ カズヨシ
- ・イゼキ トモコ
- ・イデ ミヤコ
- ・イトウ ヒサカズ
- ・イトウ ヒトミ
- ・ウエノ テルオ
- ・牛田 松則
- ・映画「渡されたバトン」上映実行委員会
- ・エヌオンライン有限会社
- ・大熊復興祈願2013義援パッチ購入者 (2013年9月10日時点)
- 池口直行・ユウキ・ペルライダー・YU～ちゃん・やま・ぜんぞう・ヒロ・シゲ・こもも・大久保・群馬ひろ・KATSU・ケイジ・ノブ・SHIGE・Tonny・けん・キリーク・TOMO・ナツ・ハナ・リック・シェフ・みんな・マーフィー・田中 (大熊町出身)・大将・Hiromi・ケイ・Wagi・俊ちゃん・加トさん・姉ちゃん・マジマ・カズヤ・ミオ・てっちゃん・ミウ・カツミ・つの・Jesse・てるっち・りょう・ぷい・SHO・キッチ・界さん・春吉・溝口・ゆう・HIRO・なかちゃ・タカサキ・TERU・ハズバン・大志・MAR・みっち～・OKA・オオゼキ ミツロウ
- ・太田商事 株式会社
- ・大畑 道子
- ・大南建設工業株式会社
- ・大森 セツ
- ・オギソ タツヤ
- ・オクムラ ヒロカズ
- ・オダワラシヤクシヨ オダワ
- ・オヤナギ ミチコ
- ・カ) ニツク
- ・カ) ロボット
- ・ガク) ニホンシヤカイジギ
- ・カケビジユツカン ダイレ
- ・カスガ リカ
- ・片瀬地区社会福祉協議会
- ・カトウ サチコ
- ・カトウ マサシ
- ・株式会社 チェンジ
- ・株式会社 鶴我
- ・カンノ メグム
- ・ガンバロウトウホクカイ (ユ
- ・義援パッチ製作代協力者 (2012年8月～2013年8月までの群嶺飛通輪颯隊のツ
- リング参加者)
- ・九州産業大学附属九州高等学校
- ・金海月
- ・クズヤ シゲヒサ
- ・クラサワサトヤマヲアイスルカイ
- ・クラモト ヤスノリ
- ・ぐれんびあーれ
- ・公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会 小田原支部
- ・甲和会
- ・ゴシヨウメ ヨシヒロ
- ・小長井 大作
- ・サイトウ コウイチ
- ・齋藤 有紀子
- ・サカイ タカマサ
- ・サカイ ユタカ
- ・サトウ ギヨウ
- ・サトウ テツオ
- ・塩沢 三男
- ・志なの屋
- ・シマネツ トシハル
- ・シミズ サトミ
- ・シモセノリコ
- ・浄土真宗 本願寺派 たすけあい運動募金
- ・初心堂
- ・新常磐交通株式会社 代表取締役 高野 将弘
- ・杉山 輝子
- ・鈴木 英昭
- ・タカイシ ミホ
- ・タカギ サチエ
- ・タカクラ ツネソウ
- ・タカハシ ジュンイチ ケイコ

試験

平成27年度大熊町職員 (大学卒程度)採用候補者試験のお知らせ

①試験職種及び採用予定人員

- ・大卒行政 若干名
- ・大卒土木 若干名
- ・大卒建築 若干名

②受験資格

◆大卒行政 昭和63年4月2日以降に生まれた者で大学を卒業又は卒業見込みの者。

◆大卒土木 昭和60年4月2日以降に生まれた者で大学を卒業又は卒業見込みの者。

◆大卒建築 昭和60年4月2日以降に生まれた者で大学を卒業又は卒業見込みの者。

※ただし、次の各号のいずれかに該当する者は受験できません。

- (1)日本の国籍を有しない者
- (2)成年被後見人又は被保佐人(準禁治産者を含む)
- (3)禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は

その執行を受けることがなくなるまでの者

- (4)大熊町職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (5)日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

③試験の方法

大学卒程度で次により行います。

(1)第1次試験

①教養試験

職員として必要な一般知識及び知能について、択一式による筆記試験を行います。

②専門試験

それぞれの試験職種の職員として必要な専門知識及び能力について、択一式による筆記試験を行います。

③職場適応性検査

公務の職業生活への適応性について、検査を行います。

(2)第2次試験

第1次試験合格者に対して、主として人物及び一般常識について個別面接による試験及び小論文試験を行います。

④資格調査

第1次試験合格者について、受験資格があるかどうか、試験申込書に記載されていることが正しいかどうかについて調査します。

⑤試験の期日、場所及び発表

○第1次試験

期日 平成26年7月27日(日)

◆受付

午前9時～午前9時30分
教養試験 午前10時～正午

◆専門試験

午後1時～午後3時

◆職場適応性検査

午後3時30分

～午後3時50分

◆試験場 福島大学(福島市金谷川1番地)

◆発表

平成26年10月中旬までに大熊町役場内の掲示板に合格者(受験番号)を掲示するほか、合格者に通知します。

○第2次試験

第1次試験の合格通知の際、お知らせします。

⑥合格者の採用

(1)合格者は採用候補者名簿に登載され、成績順に町長が採用する者を決定します。

この採用候補者名簿の有効期間は原則として1年間です。

(2)初任給は、本町の給料表によるが、その他扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当、期末手当・勤勉手当などが、それぞれの支給要件に応じて支給されます。

⑦受験手続き及び受付期間

(1)申込用紙の請求

申込用紙は、大熊町役場総務課において交付を受けるか、大熊町ホームページからダウンロードしてください。

郵便により受験申込用紙等を請求する場合は、封筒の表に赤で「大学卒程度職員試験申込用紙請求」と書いて、120円切手を貼った自分宛の返信用封筒(角型2号)を必ず同封してください。

(2)申込の方法

①申込用紙に必要事項を記入して、大熊町役場会津若松出張所総務課に提出してください。

申込書を郵送する場合は82円切手を貼った自分宛の封筒を同封し、その表に赤で「大学卒程度試験申込」と書いて、必ず簡易書留にて送付してください。

②受験票を受領したときは、最近6カ月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cm)1枚を写真欄にはって受験当日に必ず持参してください。(受験票がない場合、または受験票に写真が貼っていない場合は、受験できません。)

(3)受付期間

平成26年5月29日(木)から同6月27日(金)まで(午前8時30分～午後5時15分の執務時間中に限りです。)

⑧その他

(1)受験の際は、「HB」の鉛筆と消しゴムを持参してください。

仙台国税局では税務のスペシャリストとして活躍するバリエーションあふれる税務職員を募集しています。国の財政

平成26年度税務職員 (高校卒業程度) 採用試験のお知らせ

**大熊町役場会津若松出張所
総務課** (福島県会津若松市
追手町2-4-1)
☎フリーダイヤル
0120-126-13844

お問い合わせ先

(3)この試験に関し不明な点は、大熊町役場会津若松出張所総務課に問い合わせてください。郵便で問い合わせる場合は、82円切手を貼った自分宛の返信用封筒を必ず同封してください。

ださい。それ以外の筆記用具は使用できません。

(2)試験当日の試験会場への自家用車の乗り入れを禁止します。また、家族による送迎も会場周辺の渋滞により遅刻するおそれがあるので、公共交通機関を利用してください。

を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか？

◆受験資格

①平成26年4月1日において、高等学校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して3年を経過していない者および平成27年3月までに高等学校または中等教育学校を卒業する見込みの者

②人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める者

◆受験申し込み受付期間

〔インターネット〕
平成26年6月23日(月)
～7月2日(水)

〔郵送または持参〕

平成26年6月23日(月)
～6月26日(木)

◆受験申し込み方法

受験申し込みは原則インターネット申し込みとする。

郵送または持参用受験申込書の請求は最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課または人事院東北事務局へ行う。

◆第1次試験日

平成26年9月7日(日)

お問い合わせ先

仙台国税局人事第二課
試験研修係

☎022-263-1111
内線3236

人事院東北事務局

☎022-221-2022

映画

映画「舟を編む」 上映会

日本赤十字社福島県支部は復興支援事業として映画上映会を開催します。抽選で40名様を無料でご招待します。

◆上映作品

「舟を編む」監督・石井裕也 原作・三浦しをん
出演・松田龍平 宮崎あおい 他

◆日時

6月28日(土) 午後1時開場 午後1時30分開会(午後3時50分終了予定)

◆会場

会津大学講堂(会津若松市一箕町鶴賀)

◆招待者数

400人

◆応募方法 以下の必要事項を記載の上、はがきまたは

ファクスでお申し込みください。①「舟を編む」希望

②郵便番号、住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥希望人数(2名まで)

◆締め切り

6月13日(金) ※消印有効

◆入場券の発送

6月20日(金)に当選はがき(入場券兼用)を発送します。

応募多数の場合は抽選となります。

落選通知はしませんのでご了承ください。

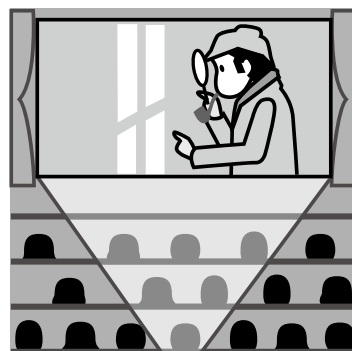
お申込・お問い合わせ先

〒960-1197

福島市永井川字北原田17
日本赤十字社福島県支部

☎024-545-7996

FAX 024-545-7923



大熊町の避難状況

○人口及び世帯数

	人口数	世帯数
平成23年3月11日時点	11,505	4,235
平成26年4月30日現在	10,891	3,964
増 減	△614	△271

●避難先の状況(平成26年5月1日現在)

■福島県内の主な避難先地域

いわき地域 4,071人・会津地域 2,271人・
県中地域 1,139人

■福島県外の主な避難先都道府県

埼玉県 402人・茨城県 390人・
東京都 320人

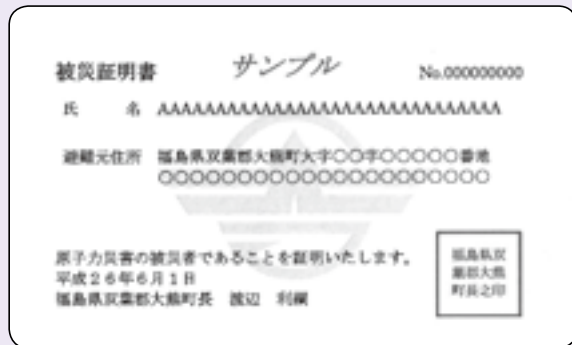
被災証明書がカード型になります

このたび、カード型の被災証明書を発行することとなりました。

6月中旬より役場に登録されている避難先に順次発送いたします。準備が整いしだいの発送となるため、お手元に届く時期にばらつきがありますのでご了承ください。

交付対象者は、平成23年3月11日に当町に住民登録があり東日本大震災における原子力発電所の事故で被災された方です。

なお、従来発行してございました被災証明書につきましても通常通り使用できます。



【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所住民課避難者名簿係
フリーダイヤル 0120-26-3844 (内線542)

地方税法改正による軽自動車税の税額の改正について

地方税法改正により軽自動車税の税額が下表のとおりとなります。

区 分		現 行	改正後①	重課税額②		
原 動 機 付 自 転 車 (125cc 以下)	総排気量 50cc 以下のもの、又は定格出力 0.6kw 以下のもの	1,000 円	2,000 円	—		
	二輪のもので総排気量 50cc 超 90cc 以下のもの、又は定格出力 0.6kw 超 0.8kw 以下のもの	1,200 円	2,000 円	—		
	二輪のもので総排気量 90cc 超のもの、又は定格出力 0.8kw 超のもの	1,600 円	2,400 円	—		
	三輪以上のもので総排気量 20cc 超のもの、又は定格出力 0.25kw 超のもので一定のもの（ミニカー）	2,500 円	3,700 円	—		
軽 自 動 車 (660cc 以下) 及 び 小 型 特 殊 自 動 車	二輪のもの（側車付のものを含む。）（125cc 超 250cc 以下）	2,400 円	3,600 円	—		
	三輪のもの（トライク等）	3,100 円	3,900 円	4,600 円		
	四輪のもの	乗 用	自家用	7,200 円	10,800 円	12,900 円
			営業用	5,500 円	6,900 円	8,200 円
		貨 物	自家用	4,000 円	5,000 円	6,000 円
営業用			3,000 円	3,800 円	4,500 円	
二輪の小型自動車（250cc 超）		4,000 円	6,000 円	—		
農 耕 作 業 用		1,600 円	2,400 円	—		
そ の 他 特 殊 自 動 車		4,700 円	5,900 円	—		

現 行 平成27年3月31日までに取得した軽自動車

改正後① 平成27年4月1日以後に取得した軽自動車等

（なお、三輪及び四輪の場合は平成27年4月1日以後に軽自動車の初度検査をしたもの）

重課税額② 初度検査から13年を経過した三輪及び四輪の軽自動車

※初度検査とは・・・軽自動車検査協会に初めて登録された車両

【お問い合わせ先】 大熊町役場会津若松出張所税務課 フリーダイヤル 0120-26-3844 (内線512)

町民掲示板

富岡高校同窓会のお知らせ

昭和54年4月～昭和55年3月生まれの富岡高等学校卒業生の同窓会を開催します。卒業時の担任は3A井上先生、3B門馬先生、3C大沼先生です。

場所、日程、会費など詳細につきましては下記連絡先へお問い合わせください。

※震災後の転居先確認は非常に困難で苦戦しております。ご家族様、ご近所様、ご友人様からも情報展開をお願いします。

日時 平成26年6月28日(土)夕方(予定)

場所 郡山市(予定)

お問い合わせ先

幹事 江尻隆浩 携帯：090-6782-7130
(Cメール、ライン大歓迎)

アドレス：tomikou5455@gmail.com

※参加の可否に関わらずご連絡お願いいたします

大野1区、大野2区から

あの震災、原発事故からはや3年が経ち、未だに先の見えない避難生活を余儀なくされている皆さん本当にご苦労さまです。

さて、大野1区、大野2区の総会を下記により開催いたしますので、多数ご出席くださるようお願いいたします。

尚、出欠の報告を必ずお願いします。報告のない方については委任状の扱いとさせていただきますのでよろしくをお願いします。

日時 平成26年7月10日(木) 午後4時～

場所 東山グランドホテル
(会津若松市東山町湯本字上湯本5)
☎0242 (27) 3500

申込期日 平成26年6月15日厳守

お問い合わせ先

大野1区 鈴木 国郎：090-5234-7036

中里 忠良：090-9535-8404

大野2区 井戸川洋一：090-3121-8339

佐藤 洋子：090-5180-4006

※出席者で宿泊を希望される方は申し出てください。ただし宿泊費については自己負担となります。

ジグソーパズルをいただきました

熊1区の河西確さんから4月25日、大熊町にジグソーパズル2点が寄贈されました。1点は桜の花が咲き誇る鶴ヶ城の風景、もう1点は今年の干支にちなんだイラスト作品です。妻ミツ子さんの協力で、1カ月かけて完成させたそうです。会津若松市の会津若松出張所を訪れた河西さんは「来庁者が少しでも明るい気持ちになってくれればうれしいです」と話し、渡辺利綱町長に作品を手渡しました。友人の鈴木照重さんが同行しました。



◀河西さん夫妻が寄贈したジグソーパズル

茨城県に避難の大熊町のみなさんへ

大熊町避難者コミュニティ「積小為大の会」のご案内

6月の定例会は次の通り開催します。

◆日時 平成26年6月22日(日)
9:00～12:00

◆場所 社団法人茨城県産業会館
(水戸市桜川2-2-35)

◆駐車場 産業会館の駐車場をご利用ください

◆内容 弁護士による種々の法律勉強会及び個人相談

◆その他 町民同士の情報交換

【お問い合わせ】

野田朋弘(日立市) ☎090-8423-5608

Email: tomohiro-n@higashi-t.com

6月は「シートベルト着用強化月間」です

6月1日(日)から30日(月)までの1ヶ月間はシートベルト着用強化月間となっております。シートベルトとチャイルドシート着用の効果や必要性を認識し、車に乗ったら必ず、全ての座席でシートベルト・チャイルドシートを正しく着用しましょう。

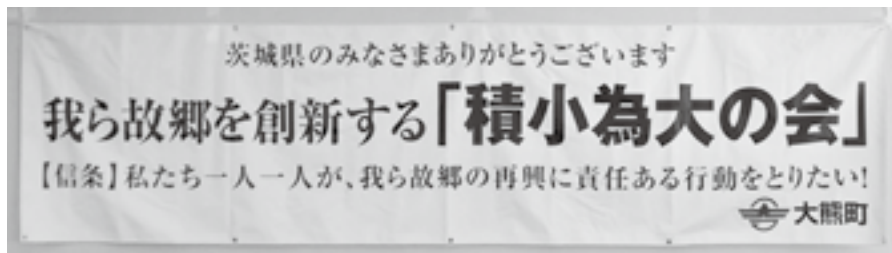
主唱 福島県・福島県交通対策協議会

おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住所
2014年(平成26年)4月		
遠藤 義二	83歳	熊町
澤田 志津子	60歳	向畑
紺野 芳子	88歳	新町

茨城県の町民コミュニティ紹介 (第3回)

(3号にわたってご紹介します)



「積小為大の会」——小さな出合いを大きな希望に

茨城県で開かれている「積小為大（せきしょういだい）の会」は、活動2周年を迎えました。コミュニティに参加するみなさんは、どんな表情をしているのでしょうか。この集まりは、どんな想いで続けられているのでしょうか。最近の試みと、町の将来にかける想いとあわせて、振り返ります。

■二年間のあゆみ——平成24年度と25年度の活動経過

	平成 24 年度	平成 25 年度
4月	4/22 (日) 弁護士との賠償相談会	4/21 (日) 弁護士との賠償相談会
5月	5/19 (土) 町議員による町政報告会	5/18 (土) 弁護士との賠償相談会
6月	6/23 (土) 情報交換会	6/22 (土) 弁護士との賠償相談会
7月	7/22 (日) 町議員による仮の町に関する説明会	7/21 (日) 弁護士との賠償相談会
8月	8/26 (日) 国の町民説明会 (いわき市会場に参加)	8/24 (土) 情報交換会
9月	9/22 (土) 弁護士との賠償相談会	9/29 (日) バーベキュー大会
10月	10/21 (日) そば打ち会に参加	10/26 (土) 弁護士との賠償相談会
11月	11/25 (日) 弁護士との賠償相談会	11/24 (日) 情報交換会
12月	12/22 (土) 弁護士との賠償相談会と 食事会	12/21 (土) 新井恵美子(作家) 講演(二宮尊徳からの復興の教え)
		12/25 ~ 28 (水~土) イベント主催 (明日へつなぐ船)
1月	1/27 (日) 弁護士との賠償相談会	1/25 (土) 情報交換会
2月	2/24 (日) 弁護士との賠償相談会	2/23 (日) 総会
3月	3/17 (日) 年次総会と食事会	3/8 (土) 遠征による研修会

■水戸の中のふるさと——茨城県の町民と集まりの場

水戸駅の南口にある、広いロータリー。その近くを、偕楽園から流れてきた川が走ります。その堤防に沿って建つのが、茶色い壁の「茨城県産業文化会館」。ここが毎月、「積小為大の会」の開かれている場所です。

茨城県に避難している大熊町民は400人近く。毎回、顔ぶれは少し変わりますが、10人から20人ほどが参加します。水戸市内だけでなく、日立市など他の市町村からも足を運んでいます。

町民だけで集まることで、町政の動きや、町民固有の賠償問題に関して、情報交換や相談を行うことが円滑になります。しかしそれだけでなく、大熊にいたるときのように居心地よく何でも話せることも大きな魅力です。この集まりのことを「コミュニティ」と呼ぶのはこのためです。

【茨城県産業会館 案内図】

(茨城県水戸市桜川2-2-35)



【お問い合わせ先】

小さな出会いを、大きな希望に。
ご連絡をお待ちしています。

積小為大の会 代表 野田朋弘

☎090-8423-5608

mail : tomohiro-n@higashi-t.com

今回の記事を寄稿させていただきました。
首都大学東京／関西大学 研究員 吉田耕平

☎080-3818-6091

mail : kohei_y_jiminer@yahoo.co.jp



「ふら〜っとルーム」 開設のお知らせ



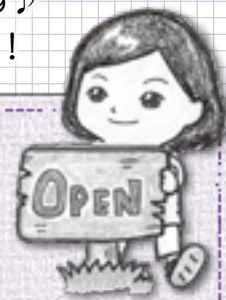
ふら〜っとルームは立ち寄って下さる皆様が、自由に過ごして頂けるお部屋です。
お友達とでも、お一人でも、老若男女だれでもOKです♪
コーヒーやハーブティーをご用意してお待ちしています！



日時 6月9日（月）より 毎週月曜日
（祝日の場合はお休みです）

時間 13:30 ~ 15:30

場所 ゆっくりすっぺ
ふくしま心のケアセンター 会津方部センター
TEL.0242-28-6252
（心のケアセンターは看護師・社会福祉士などの
専門員で構成されています）



子育てひろば ご参加ください！

- ◆日にち 6月11日（水）、24日（火）
- ◆場所 大熊町役場いわき出張所2階
- ◆時間 午前9時30分～正午
- ◆対象 未就学児とその親
（祖父母も大歓迎）
- ◆内容 自由遊び（おもちゃや絵本があり
ます）絵本の読み聞かせ など

【お問い合わせ先】
大熊町役場いわき出張所（保健師・看護師）
フリーダイヤル 0120-26-5671

ウォーキングのすすめ を開催します



- ◆日にち 6月5日（木）
- ◆場所 大熊町役場いわき出張所2階
- ◆時間 午前10時集合
- ◆内容 お話：ウォーキングの基本
実践：近くの公園まで歩きます（雨天時は
室内）※歩いた後は豚汁で一息！
- ◆講師 J-VILLAGE フィットネスジムトレーナー
- ◆申し込み 電話にて
- ◆定員 20名（定員になり次第終了）

【お問い合わせ先】
大熊町役場いわき出張所（保健師・看護師）
フリーダイヤル 0120-26-5671

保健だより



食中毒に注意!!

食中毒の原因になる菌にはどのようなものがあるかを知って予防しましょう

	症状が出るまで	主な症状	菌のいる場所
出血性大腸菌 O157	4～9日	発熱・腹痛・血便	牛の中に多い
腸炎ピブリオ	6～32時間	下痢・腹痛	魚の中に多い
ブドウ球菌	1～4時間	吐き気・腹痛	水虫など身近に多い
サルモネラ菌	10～20時間	発熱・下痢	鶏の卵などに多い
ウェルシュ菌	8～24時間	おなかが張る	土・海水の中に多い
カンピロバクター	3日前後	下痢	豚・犬・鳥の中に多い
ボツリヌス菌	12～36時間	目の障害	土・川など泥の中に多い

食中毒予防の三大ポイントは「つけない」「ふやさない」「やっつける」

1. 菌をつけない工夫

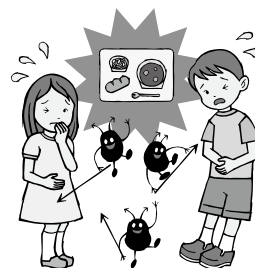
- 調理前の食材も丁寧に洗う。
- 生の肉や野菜の保存は他の食品と触れないようにラップなどでしっかり包む。
- 出来上がった料理は容器やラップで保護して蓋(ふた)をする。
- まな板と包丁は生の肉や魚用と、野菜や加熱した食品用の2セット用意して使い分ける。

2. 菌を増やさない工夫

- 作ったらすぐ食べる。
- 温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに食べる。
- 食品を買ったらなるべく早く帰宅し、冷蔵庫・冷凍庫に入れる。
- 菌は冷やしても死なないので、冷凍庫を過信してはいけない。

3. 菌をやっつける

- 食品の加熱は中心までしっかり火を通す。
- コロッケやハンバーグなど厚みのある食品は、加熱後に割って色を確認する。
- 鍋での加熱は、かき回して全体を均一に温める(中心の温度が低いことが多いので注意)
- 耐熱容器の食器は使う前に熱湯で消毒する。
- 熱に弱い食器も使用前に洗うこと。
- ほとんどの菌は75度以上で1分以上加熱すると死滅するので、最終的に加熱滅菌するのが確実です。



「シルバークッキング」 のご案内



シルバークッキングを開催します。簡単でおいしい料理の実習です。わいわい楽しくにぎやかに！あなたも腕をふるってみませんか。たくさんの方の参加をお待ちしています。

※偶数月に年5回開催します。(3月のみ、奇数月)

- 開催日 6月27日、8月29日、10月24日、12月19日、3月20日
- 場所 会津若松市勤労青少年ホーム
- 対象 65歳以上の男性
- 定員 15名(できれば1年通して受講できる方)
- 参加費 実費(300円程度)
- 持参物 エプロン、三角巾
- 申し込み 6月20日(金)まで、電話でお申し込みください。先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。

【お問い合わせ・お申し込み先】

大熊町役場会津若松出張所保健センター フリーダイヤル0120 (26) 3844

à la carte

あらかると



ポケモンふれあいイベント 「POKEMON with YOU」が 開催されました



人気アニメ「ポケットモンスター」のイベントが4月27日、大熊町役場いわき出張所で開催され、町民約50人が参加しました。

イベントでは、出張所内に隠されたポケモンを探し出してカメラで撮影したり、ワークショップでぬり絵や

ペーパークラフト、オリジナルエコバッグを作成しました。

また、人気キャラクターの「ピカチュウ」が登場し、集まった子どもたちと一緒にクイズやダンス、記念写真など、思い出に残る楽しい時間を過ごしました。



大熊中生が 鶴ヶ城で演奏しました

世界のミュージシャンが東日本大震災の被災地を応援するコンサート「Music for Tomorrow」を紹介するNHKの「春コンサートin鶴ヶ城」が4月26日、会津若松市の鶴ヶ城公園本丸で開かれ、大熊中の吹奏楽部と特設合唱部が演奏を披露しました。

大熊中の卒業生で葵高2年の阿部真季さんがフランスで開かれた「Music for Tomorrow」のコンサートに参加した模様を、司会の滝川クリステルさんやNHKアナウンサー畠山智之さんとともに紹介しました。



小学校に鯉のぼり

会津若松市の大野小・熊町小校庭に4月17日、鯉のぼりが掲げられました。県電設業協会会津支部が避難生活を送る児童の健やかな成長を願って平成23年から続けているもので、4回目の今年は新たに電柱を取り付けてワイヤーを伸ばし、これまでの2倍となる22匹を掲げました。

同支部の佐藤脩一支部長が「鯉のぼりのように元気に成長し、将来は福島復興に力を注いでください」と延べ、大野小6年の池田雄真君が「鯉のぼりのように元気にたくましく過ごします」と感謝しました。

